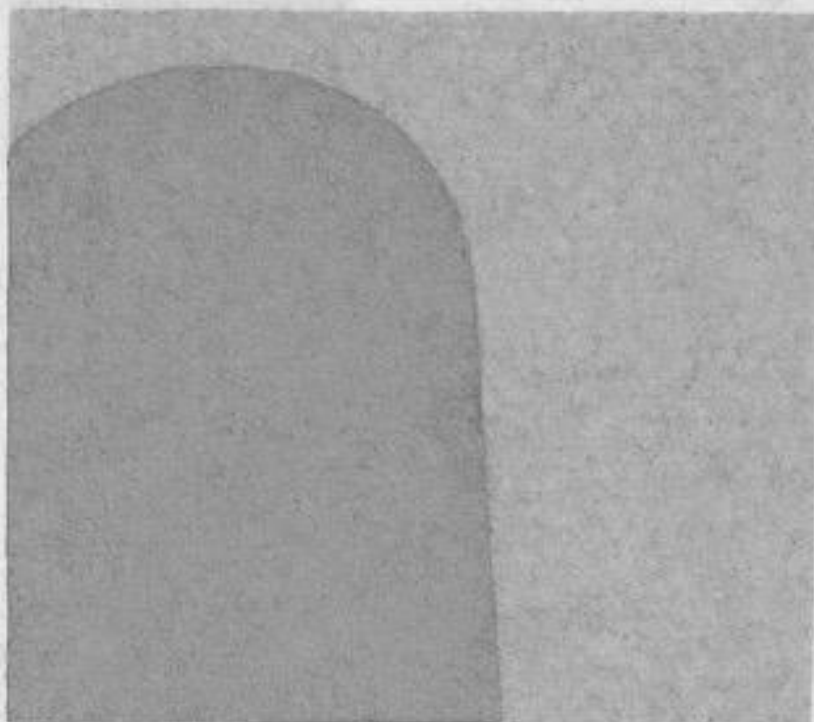


国家権力犯罪を糾す

宮澤・レーン・スパイ冤罪事件 総資料総目録

冤罪再発阻止！
次なる展開へ



北大生・宮澤弘幸「スパイ冤罪事件」の真相を広める会
事務局

なぜ、宮澤弘幸とレーン夫妻だったのか

なぜ、かくも重刑だったのか

その畏をはめたのは誰なのか

総目次

表紙デザイン・杉全 泰

はじめに

国家権力犯罪を糾し、新たな運動を巻き起こす一助に 1

秋間浩・上田誠吉往復書簡 9

山野井孝有の訴え 11

冤罪の被害者 12

冤罪の概要 14

スパイ冤罪と戦後の秘密法策動・関連年表 16

第一部 論考

正確に伝えたい 17

―誤用・誤解・半解事項の解消を

検証・12月8日の冤罪 31

―宮澤弘幸はどこで検挙されたのか

再審への課題 43

―宮澤弘幸の大審院判決から

最初の問題提起 51

―初心忘れることなく

第二部 資料

冊子『引き裂かれた青春』（山野井孝有） 55

講演録「戦時下の言論・思想弾圧」（荻野富士夫） 79

総括と決定 85

冊子『北大に求めた処置と責任』 99

建碑に寄せられた意見 111

活動経過 131

第三部 目録

全資料目録 145

新聞・NHK・団体機関紙誌等の報道目録 164

本会刊行目録 170

事務局たより・番外編 172

編集後記 176

会報・事務局たより（横組み、巻末②）

花伝社刊『引き裂かれた青春』索引（横組み、巻末①）

とくに『思い込み』がいけません。間違いは、多くの場合『思い込み』の強さに発しているようです。しかし同時に、多少は『思い込み』がないと、なにも新しい知見は得られません。そのへんの加減が難しいようです。

（上田誠吉著『ある北大生の受難』から）